

京都山城総合医療センター
第二次経営計画（改革プラン）進捗状況
（28年度6月報告）

平成28年6月

国民健康保険山城病院組合

目 次

1. 改革プラン主要項目
2. 改革プランの進捗状況
3. 医師の配置状況
4. 10月 ～ 3月の経営状況

1. 改革プラン主要項目

24年度～27年度 病院の基盤を重点的に整備する期間

(当面の取組み)

- ・医師・看護師等のマンパワーを引き続き増強する
- ・中核病院として求められる主要な医療機器等の更新・整備を集中的に行う

施設設備の整備

- ・電子カルテの更新
- ・医療機器の計画的な整備・更新
- ・建物設備等の改修
- ・業務システムの整備

診療体制の充実・強化

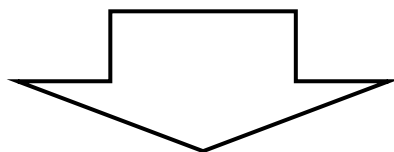
- ・医師陣の増強
- ・看護職の充実
- ・コ・メディカルの充実

医療機能の強化

- ・重症管理病棟の設置
- ・「断らなくて済む救急医療体制」の現実
- ・病床の有効活用(亜急性期病床の設置)
- ・医療の質や患者サービスの向上

連携診療システムの整備

- ・在宅医療の後方支援
- ・山間部診療所の診療支援
- ・紹介型病院・救急病院への転換
- ・連携基盤の整備
- ・診療所との協働



具体的な取組み内容

医療機器等の更新・整備

- 電子カルテの更新
 - ・診療の基盤となる情報システムを更新し、チーム医療の充実を図る
- 医療機器の計画的な整備・更新
 - ・第二次経営計画期間において、医療機器に1,259,000千円、建物設備等に498,000千円、合計1,757,000千円の投資を行う
- 建物設備等の改修
 - ・電気・空調設備など、経年劣化した設備を更新
- 業務システムの整備
 - ・会計システム、人事管理システムなどを整備

マンパワーの向上

- 医師の充実
 - ・内科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科を重点的に増員
 - ・医師事務作業補助者の充実による医師の負担軽減
- 看護職の充実
 - ・採用活動の強化、待遇の改善、離職防止策、就業環境の整備などを集中的に実施
 - ・外来の診療補助者、病棟の看護補助者などの充実
- コ・メディカルの充実
 - ・病棟配置制度に伴う薬剤師の増員
 - ・リハビリスタッフ、臨床工学技士の増員
 - ・医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師などの配置を検討

2. 改革プランの進捗状況 (平成28年3月末現在)

○ 達成済、△ 現在進行中、※ 以降に実施を目指す事項、⇒ 前年度の状況を継続 未達成

		概要	目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考
① 施設設備の整備	1) 電子カルテの更新	○ 診療の基盤となる情報システムを更新し、チーム医療の充実を図る	平成24年度	○	⇒	⇒	⇒	
	2) 医療機器の計画的な整備・更新	○ 第二次経営計画期間において、医療機器に1,259,000千円、建物設備等に498,000千円、合計1,757,000千円の投資を行う	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	H27年度当初予算において、建設改良費約4億2,100万円を計上 H27年度にCT装置の更新。超音波検査の更新及び1台増。
	3) 建物設備等の改修	○ 電気・空調設備など、経年劣化した設備を更新	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	1FX線系統・2F検査室系統空調の更新。
	4) 業務システムの整備	○ 会計システム、人事管理システムなどを整備	平成24～25年度	 	○	⇒	⇒	
② 診療体制の充実・強化	1) 医師陣の増強	○ 内科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、病理診断科を重点的に増員	平成24～27年度	 	△	⇒	⇒	
		○ 医師事務作業補助者の充実による医師の負荷軽減	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	
	2) 看護職の充実	○ 採用活動強化、待遇改善、離職防止策、就業環境整備などを集中的に実施	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	看護協会ワークライフバランス推進ワークショップにH25～H27年度に参加
		○ 外来の診療補助者、病棟の看護補助者などの充実	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	引き続き、病棟クランク・病棟看護補助者の増員を図っており、急性期看護補助体制加算を取得。病棟クランクについては全病棟配置完了。看護補助者については、引き続き増員を目指す。
	3) コ・メディカルの充実	○ 病棟配置制度に伴う薬剤師の増員	平成24～27年度	 	△	⇒	⇒	今年度2名増(前年度末比) 病棟に薬剤師を配置し、H28.1月より病棟薬剤業務実施加算の施設基準を取得
		○ リハビリスタッフの増員	平成24～27年度	 	△	⇒	⇒	今年度2名増(前年度末比)
		○ 臨床工学技士の増員	平成24～27年度	 	△	⇒	⇒	臨床工学技士1名増(前年度末比)
	○ MSW(医療ソーシャルワーカー)、退院調整看護師などの配置を検討	平成24～27年度	 	△	⇒	⇒		
③ の医療強化機能	1) 重症管理病棟の設置	○ HCUの施設基準を充足して管理料を算定	平成25～27年度		※	 	 	
		○ ICU1の施設基準を充足して、HCUからICUに転換	平成25～27年度		※	 	 	

		概 要	目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備 考	
③ 医療機能の強化	2) 「断らなくて済む救急医療体制」の実現	○ 入院受入体制、コ・メディカルの診療体制充実など救急応需体制の整備	平成24～27年度			△	⇒	診療体制の充実を図る為、コ・メディカルの人員増強を図っている 臨床検査技師2名増(前年度末)	
		○ 時間外軽症患者への選定療養費導入	平成24～27年度						
		○ 軽症・一次救急患者の地域診療所との機能分担	平成24～27年度			△	⇒	昨年度より、登録医制度を実施しており、現在当院の登録医療機関 38・登録医42医師。一層の機能分担を推進するべく平成28年度より選定療養費の引上げすることを決定。	
	3) 病床の有効活用(亜急性期病床の設置)	○ マンパワーの確保を図る中で対応	平成24～27年度		※	○	⇒	昨年度より、1病棟を地域包括ケア病棟として運用	
4) 医療の質や患者サービスの向上	○ 引続き医療安全管理体制の強化及び利用者の声の収集とサービスの改善	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	H27年度に病院出入りロセキュリティの強化を図る。平成26年度～ふれあい箱委員会を設置し、引き続き院内全体で投書内容の検証及び対策をしている。		
④ 連携診療システムの整備	1) 紹介型病院・救急病院への転換	○ 医師会や構成市町村等と連携し、病院の役割やかかりつけ医を持つことの必要性について周知	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒		
		○ 紹介状のない初診患者の選定療養費引上げを検討	平成24～27年度				○	今年度2月に、初診時選定療養費の引上げに関して議会で承認。H28年4月から導入。現行の400円から2,300円へ引上げ。	
	2) 連携基盤の整備	○ 引続き地域医療連携室の受付時間拡大などについて検討	平成24～27年度						
	3) 診療所との協働	○ 症状が安定した患者の診療所への逆紹介の徹底	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	昨年度より、かかりつけ医相談窓口の設置。引き続き業務を行っている。	
		○ 診療所からの紹介患者のスムーズな受入れ	平成24～27年度	○	⇒	⇒	⇒		
	4) 在宅医療の後方支援	○ 地域医療連携室に退院調整看護師の配置を検討	平成24～27年度						
		○ 在宅患者の緊急時入院受入れを強化	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒		
		○ 介護老人保健施設やましろとの連携を強化	平成24～27年度	○	⇒	⇒	⇒		
5) 山間部診療所の診療支援	○ 医師陣充実後に、医師派遣などを検討	平成24～27年度				△	平成28年6月より相楽郡和束町と診療業務支援を締結。		

		概 要	目標年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備 考
⑤ そ の 他	1) 公営企業会計制度の変更への対応	○ 公営企業会計制度の変更に伴う諸整備 ・財務会計システムの変更/ ・変更に伴う損益、貸借の項目移行作業等	平成24～26年度	△	○	⇒	⇒	
	2) 原価管理システムの研究、導入の検討	○ 患者別原価管理が可能なシステムの研究	平成24～25年度	△	⇒	⇒	⇒	
	3) コストの抑制	○ 材料費・委託費・保守料等の抑制、削減	平成24～27年度	△	⇒	⇒	⇒	委託費(術衣340円⇒190円/枚)年間約200万円削減。電気代年間約150万削減
	4) 健診センターの充実に向けた取組み	○ 特定健診の充実、特定保健指導の充実	平成24～27年度					
	5) 第三次計画に向けた取組み	○ 増床の検討	平成26～27年度			※		
○ 放射線治療器導入の検討		平成26～27年度			※	⇒	第三次経営計画の具体的な取組み内容として放射線治療機器導入の検討を明記。	

3. 医師の配置状況 (各年度3月末現在)

()内は専門医 再掲

	平成26年度	平成27年度	前年度比	非常勤医師
	人	人	人	
内科	2	2	0	7
内科(消化器)	5(5)	4(4)	△ 1	
内科(循環器)	3(3)	4(3)	1	3
内科(呼吸器)	1(1)	0	△ 1	1
腎臓内科	2(2)	2(2)	0	2
内科(糖尿・代謝・内分泌)	1	1(1)	0	1
内科(リウマチ)	1(1)	2(1)	0	
神経内科	3(1)	2(2)	△ 1	3
小児科	3(3)	5(2)	2	4
外科	3	1(1)	△ 2	
外科(呼吸器)	1(1)	1(1)	0	2
外科(消化器)	1(1)	1(1)	0	
外科(乳腺・内分泌)	1(1)	1(1)	0	3
外科(小児外科)	1(1)	1(1)	0	1
整形外科	1(1)	1(1)	0	4
脳神経外科	3(2)	3(3)	0	
皮膚科	0	0	0	3
泌尿器科	1(1)	2(2)	1	3
泌尿器科(人工透析)	0	0	0	
放射線科	3(3)	3(3)	0	2
麻酔科	2(2)	2(2)	0	6
産婦人科	3(3)	3(3)	0	3
眼 科	1(1)	1(1)	0	3
耳鼻咽喉科	0	0	0	3
病 理	0	0	0	3
合 計	42	41	△ 1	57

4. 平成27年度 下期経営状況（10月～3月）

(1) 収益的収支

(単位：千円)

	27年度下期 (10～3月)実績額	26年度下期 (10～3月)実績額	(10～3月)前年比
経常収益	3,457,039	3,431,324	25,715
うち入院収益	2,087,806	2,087,346	460
うち外来収益	905,490	875,709	29,781
経常費用	3,543,328	3,446,671	96,657
うち給与費	1,865,290	1,771,934	93,356
うち材料費	805,126	783,225	21,901
うち経費	494,508	510,512	△ 16,004
経常損益	△ 86,289	△ 15,347	△ 70,942
特別損益	△ 3,300	△ 4,675	1,375
純損益	△ 89,589	△ 20,022	△ 69,567

(2) 患者数

(単位：人)

	27年度下期 (10～3月)実績額	26年度下期 (10～3月)実績額	(10～3月)前年比
外来延患者数	66,848	69,774	△ 2,926
入院延患者数	40,255	41,036	△ 781
新入院患者数	2,841	3,028	△ 187
総紹介患者数	3,989	3,671	318
うち初診紹介患者数	2,654	2,435	219